第１回学校評議員会議事録

北海道札幌東高等学校　校長室

期日　令和８年６月10日（水）

時刻　16時00分から17時00分

１　出席者
学校評議員３名、校長、副校長、全日制教頭、定時制教頭、事務長、主幹教諭

２　欠席者
学校評議員２名

３　次第
(1) 開会　(2) 校長挨拶　(3) 自己紹介　(4) 委嘱状交付　(5) 本校の教育活動について　(6) 評議
(7) 事務連絡　(8) 校長挨拶　(9) 閉会

４　議事の概要
(1) 本校の教育活動について
① 学校教育目標等について
校長より、「東高シンカ」をキャッチフレーズとして、学校の特色を明確化し、情報発信を強化すること、また、重点目標を組織的・系統的に推進することについて説明。
② 学校概況について
ア 全日制教頭より、部活動、教育相談、国際交流、キャリアトーク、情報発信等に関する説明。
イ 定時制教頭より、在籍状況、進路先、各種教育活動、就業体験等に関する説明。
③ シンカプロジェクトについて
主幹教諭より、初期進化編、自走深化編及びAiGROWに関する説明。
(2) 評議
① 学校評議員Ａ：生徒のAI利用の状況について、生徒が困り事をAIに相談することは、使用方法によって懸念が生じる可能性がある。
② 学校評議員Ｂ：本校の指導には一貫したストーリーがあり、指導の過程が分かりやすい。
③ 学校評議員Ｃ：次のとおり意見等があった。
ア 部活動遠征について、先日の事故を踏まえた現状に関する質問。これに対し、学校側より、道教委からの調査に回答した。今後フィードバックを受けながら適切に対応していく旨の説明。
イ 教育相談については、効果を明示することのみを求めるものではないが、教職員がやりがいを感じられる場面がなければ、対応の厳しさのみが残るのではないか。
ウ 国際交流については、世界情勢を踏まえると、海外での交流機会を持たせることが難しくなる可能性があることから、オンライン交流、留学生との交流、高校卒業後に海外で活動するための素地の醸成など、国内で実施可能な取組に重点を移していくことも有効。
エ メタ認知は、高校生にとって極めて重要。
オ シンカプロジェクトの仕組みはよく構築されており今後はこれを継続していくための体制整備が課題。
カ 高校無償化の影響は大きく、公立高校については東西南北以外の学校にとって厳しい状況が続くであろうこと、また、私立高校においても序列化が進んでいる。これに対し、学校側より、道立高校として魅力化及び情報発信を積極的に進めていく旨の説明。
(3) 事務連絡
第２回評議員会については、各分掌部長及び学年主任が同席の上、報告を行う予定。